

そうだ、  
きさいち植物園に行こう!



ミツマタ



ロウバイ

中国原産で、江戸時代の初めに渡来しました。鑑賞用として人家によく植えられ、花はろう細工のようにつやがあります。



樹皮の繊維は和紙の原料になり、紙幣にも使われています。  
※園内整備のため、今年はこちらはご覧いただけません。



ツバキ

花が平開しない野生種のヤブツバキや、平開するユキツバキなど、サクラと同様に多くの品種改良されたものがあります。



ウメ

原産地はよく分かっていません。観賞用の花梅と、果実を食用にする実梅に分かれ、またそれぞれにいろいろな品種があります。

こぼれ話



植物園では、寒さに弱い植物が冬を越すための作業をしています。写真はタイワンソテツにこもを巻いているところです。作業は上から巻く方がやりやすいのですが、間に水が溜まらないよう下から巻いていきます。



他にも入り口すぐのアメリカデイゴなどにもわらが巻かれています。昔はもっと多くの植物に作業が必要でしたが、植物が寒さに慣れてきたことと、温暖化で冬でも温かくなってきたため、作業が必要な植物が減ってきました。中の植物が見れないのは残念ですが、交野では珍しい植物の「冬眠」もお楽しみください。

質問コーナー

Q. サギソウの植替えはいつごろ行えばいいですか？



A. サギソウの植替えは、植物が活動を始める前、つまり2～3月始めごろまでに行います。用土は、ミズゴケ単用か鹿沼土混合を用います。新たな葉に黒点のような斑が出た場合には病気にかかっていますのでその球根ごと除去してください。

イベント情報

- 2月8日(金) きさいち植物園の桜のイロハとサギソウ守り(15分 参照)
- 2月19日(火)～3月3日(日) 植物園写真展(写真募集:1月22日(火)～2月14日(木))
- 2月21日(木) 植物園市民講座「伏見の酒～清酒酵母「京の華」の開発から見る酒造りの妙～」
- 2月23日(土) ウメの観察会
- 2月23日(土) きさいち植物園でウオークラリー(15分 参照)

詳細は当園ホームページをご覧ください。

大阪市立大学理学部附属植物園  
愛称:きさいち植物園

〒576 - 0004 私市2000  
TEL 891・2059 FAX 891・2101  
Email b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp



ご利用案内 ★65歳以上の市民は、登録いただくことで入園料が無料になります。(植物園メイト)

- 開園時間: 午前9時30分～午後4時30分(入園は午後4時まで)
- 休園日: 毎週月曜日(休日の場合は開園)
- 入園料: 大人350円(中学生以下は無料) 団体(30人以上) 280円
- 駐車料: 普通車500円/マイクロ1,000円/バス2,000円
- アクセス: 京阪電車交野線「私市駅」下車徒歩約6分  
JR学研都市線「河内磐船駅」下車徒歩約20分

★詳細は、ホームページでもご覧いただけます。

Web: <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>